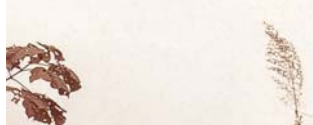


年	消防史	狹山市	主な災害	社会の動き
S29	7/1 入間川町・入間村・堀兼村・奥富村・柏原村・水富村が合併し、狹山市となる。  市制施行記念式典当日の入間川の商店街 12/29 柏原地区火災により14棟全焼 年間火災件数 建物火災8件、林野1件	7/1 人口3万1千30人世帯数5千668世帯 7/3 初代市議会議長に尾崎虎雄氏、副議長に植竹一平氏就任。議員数105名 8/15 初代市長に石川求助氏が就任 9/7 助役に町田佐一氏、収入役に小川清一氏就任 10/1 市の人口3万1千046人世帯数5千667世帯 10/23 市制施行祝賀式典を挙行 八幡神社のさはりの壺が埼玉県指定文化財（有形文化財・工芸品）になる 12/18 狹山市紋章を制定	9/25 洞爺丸台風 死者1,327人 行方不明371人 負傷者1,378人 全半壊流出家屋30,167戸 浸水家屋103,533戸 9/26 北海道岩内町大火 焼失家屋3,299戸  合併直後の議会風景	3/1 ビギン環境で米水爆実験 日本の第5福竜丸が被災 6/8 改正警察法公布（7/1施行 国家地方警察と自治体警察を都道府県警察に一元化） 7/1 自衛隊発足 12/7 吉田内閣総辞職 12/10 鳩山内閣成立  昭和29年頃の水富村笹井
S30	1/6 柏原地区火災により5棟全半焼、負傷者3名 4/1 地区消防団条例を廃止（狹山市連合消防団廃止） 狹山市消防団条例を施行 1団7分団、定員708名 狹山市消防団を発足 初代団長に村上昇氏就任 団本部 第1分団：沢・田中・峰・旭町・菅原全町・子の神 第2分団：本町・御幸町諏訪 第3分団：入間地区 第4分団：堀兼地区 第5分団：奥富地区 第6分団：柏原地区 第7分団：水富地区 7/25 ジョンソン基地のF84戦闘機が北入曽697番地に不時着、農作物に被害 8/6 七夕特別警戒はじまる 9/12 第4分団へ消防ポンプ自動車1台配置（ニッサンジープ市原ポンプ） 第5分団へ可搬式消防ポンプ1台配置 9/22 ジョンソン基地のB26爆撃機が入間川3,838番地に墜落、農作物に被害 12/26 第6分団へ消防ポンプ自動車配置（ウィルスジープ東洋ポンプ） 12/27 第7分団へ可搬式消防ポンプ配置 年間火災件数 建物火災5件	3/12 市議会が昭和30年度当初予算1億1千200万円余りを決議 4/30 市制施行後、初の市議会議員選挙 7/10 狹山市政だより（現在の広報さやま）創刊 10/1 市の人口3万1千687人世帯数5千742世帯 10/1 国勢調査が行われる 人口31,341人 10/15 埼玉県庁完成 12/17 狹山市工場誘致条例制定  昭和30年頃の七夕まつり  ウィリスジープ消防車 市内ガソリンスタンド 2軒、保有量10,540リットル	2/17 横浜市養老施設聖母の園火災 死者99人 3/1 昭和女子大学火災 10/1 新潟市大火 焼失家屋892戸 死者1名、負傷者275人 12/3 奄美大島名瀬市大火 焼損家屋1,361戸  当時の入間川町市街地を望む  稲荷山公園の見晴らし台	3/19 第2次鳩山一郎内閣成立 6/1 アルミの一円硬貨を発行 6/7 日本「関税と貿易に関する一般協定」GATTに加入調印 8/6 広島で第1回原水爆禁止世界大会開催 ソ連・東欧 7カ国友好協力相互援助条約（ワルシャワ条約）調印 8/7 初のトランジスタラジオ発売 11/14 日米原子力協定調印 11/15 自由党・日本民主党合同、自由民主党結成 11/22 第3次鳩山一郎内閣成立 12/19 原子力基本法公布（S31/1/1施行）  入間川町立図書館

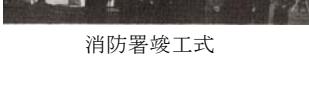
年	消防史	狹山市	主な災害	社会の動き
S31	4/1 狹山市消防団を7ヶ分団15部に再編成 4/1 狹山市火災予防条例 狹山市危険物取締条例施行 4/1 狹山市危険物安全協会発足 5/21 消防団員等公務災害補償等共済基金法の制定 消防団員及びこれに協力した者の災害補償制度を明確化 5/21 消防組織法、消防法が一部改正され災害補償が改令で定められる 11/4 ジョンソン基地のジェット機から燃料補助タンクが東三ツ木377番地に落下し、農作物に被害 11/7 第2分団第1部へ水槽付消防ポンプ自動車(FS580型ニッサン速消車)を、第7分団第1部へ消防ポンプ自動車(F4W71型ニッサン四輪駆動車)をそれぞれ配備 12/1 第1回狹山市消防団特別点検を実施する 各分団の保有機械台数 速消車1台、大型4台 ジープ6台 可搬式消防ポンプ1台 年間火災件数 建物火災7件	3/19 市議会が昭和31年度当初予算1億3千300万円余りを決議 3/15 県下初の木造防音校舎 入間川小学校が完成 5/5 狹山市体育協会が発足 8/6 新富士見橋が開通 9/28 工場誘致第1号の日本クロス工業（ダイニック）の敷地が決まる 10/1 市の人口3万1千852人世帯数5千766世帯  FS580型ニッサン速消車	3/20 能代市大火 焼失家屋1,475戸 8/18 大館市大火 焼失家屋1,344戸 9/10 魚津市大火 焼失家屋1,677戸 死者5人、負傷者170人 10/11 大津市比叡山延暦寺大講堂火災  F4W71型ニッサン四輪駆動車 (世相) 経済白書による「もはや戦後ではない」が流行語となった	7/1 中央气象台、気象庁として新たに発足 10/19 日ソ国交回復に関する共同宣言調印 11/8 我が国初の南極観測船「宗谷」出航 12/18 日本、国連に加盟 12/20 鳩山内閣総辞職 12/23 石橋湛山内閣成立
S32	 改築前の各分団車庫  	3/5 市議会が昭和32年度当初予算1億2千200万円余りを決議 4/1 狹山市文化財保護条例を制定 10/1 市の人口3万1千935人世帯数5千870世帯 11/3 第1回市民文化祭を開催 11/23 第1回市民体育祭を開催 12/20 新市建設十ヵ年計画の大綱決まる 	4/2 東京都中央区明治座火災 7/6 東京都台東区谷中五重塔焼失 死者2名、負傷者6人 放火により貴重な文化財を失った 7/25 諫早水害 死者行方不明者722人 負傷者3,860人  	1/29 日本南極観測隊昭和基地設営 2/23 石橋内閣総辞職 2/25 岸内閣成立 8/27 東海村原子力研究所で実験原子炉に”原子の火”灯る 10/1 日本、国連安保理事会非常任理事国に 10/4 ソ連人工衛星スプートニク第1号打上げ成功 12/6 日ソ通商条約調印 12/11 100円硬貨発行

年	消防史	狹山市	主な災害	社会の動き
	年間火災件数 建物火災7件、車両1件 その他火災5件			(世相) 前年の神武景気はナベ底 景気へ
S33	1/30 入間川駅前で大火 13世帯35名が罹災 4/1 所沢市と消防相互応援協 定を締結 4/20 ジョンソン基地消防隊と 火災防御相互援助協約を 締結 7/9 ジョンソン基地水源地区を 市営水道に一部使用する 協定書に調印(日量750 立方メートルの分水を受 け、各家庭に水道の給水 を開始) 7/25 ジョンソン基地のB57爆 撃機が入間川4,475番地 に墜落 死者2名、重軽傷者7名 8棟全半焼 9/26 狩野川台風通過、市内の 浸水家屋220戸、冠水水 田畑35.6ヘクタール、被害総 額約3千万円 10/23 入間川地区火災により6 棟全半焼、負傷者1名 11/4 下奥富地区火災により5 棟全半焼、負傷者1名 年間火災件数 建物火災17件 車両火災1件 その他火災1件	3/17 市議会が昭和33年度当初 予算1億7千100万円余り を決議 3/20 入曽の獅子舞が埼玉県指 定文化財(無形民俗文化 財)になる 7/27 市長に石川求助氏再選 8/1 航空自衛隊入間基地発足 8/27 助役に町田佐一氏、収入 役に小川清一氏再任 10/1 市の人口3万2千279人 世帯数5千997世帯 12/20 市役所庁舎(現在の中央 図書館)が完成  完成した市役所庁舎	2/1 東京宝塚劇場火災 死者 3人、負傷者25人 この 火災を契機として、裸火 の使用禁止場所を定めた 9/26 狩野川台風上陸 全国で 死者行方不明1,206名  航空機墜落現場  狩野川台風による浸水  笹井ダム左岸決壊現場	1/1 ヨーロッパ経済共同体 (EEC) 発足 3/9 海底国道「関門トンネル」開 通 5/24 第3回アジア競技大会開 催(東京) 6/12 第2次岸信介内閣成立 9/7 米兵による西武電車発砲 事件(ロングプリー事件)が発 生し乗客1名死亡 12/1 一万円札発行 12/23 芝公園に東京タワー完成 (世相) 家電製品普及、団地族と いう言葉が生まれた
S34	2/1 第2代消防団長に山本栄 一郎氏就任 4/1 消防法・消防組織法が一 部改正され危険物の全国 統一規制となった 4/1 国家消防本部の付属機関 として消防審議会・消防 大学校を設置 12/22 第1分団第2部へ水槽付消 防ポンプ自動車(ニッサ ンFS680)を配備 12/24 入間川地区火災により4 棟全半焼、負傷者1名	3/19 市議会が昭和34年度当初 予算1億8千万円余りを決 議 9/26 伊勢湾台風通過 全壊家屋20戸 半壊家屋62戸 その他破損家屋約2千戸 に及び農作物の80%が被 害を受ける 10/1 市の人口3万2千927人 世帯数6千159世帯 11/1 上水道配水池が稲荷山に 完成 	9/26 伊勢湾台風上陸、全国で 死者行方不明者5,100余 名、負傷者38,917人  伊勢湾台風による笹井ダム の激流	1/1 計量(メートル)法施行 4/10 皇太子殿下(現在の天皇 陛下)、正田美智子さん とご結婚 4/16 国民年金法公布 (11/1施行) 9/12 大蔵省がドル為替の自由 化を実施

年	消防史		狭山市	主な災害	社会の動き
		年間火災件数 建物火災13件 この年に初めて地下タンク貯蔵所1基設置された	 団員の消火活動		(世相) 岩戸景気始まる。皇太子殿下のご成婚でミッチーブーム起こる
S35	2/3	ジョンソン基地のB57爆撃機が入間川3,838番地に墜落、農作物に被害	3/19 市議会が昭和35年度当初予算2億1千万円余りを決議	5/23 チリ地震津波 M8.5 チリ地震により発生した津波が太平洋沿岸各地に襲来し、三陸沿岸では5~6mの高さに達した。この津波により、全壊家屋1,571戸、半壊家屋2,183戸 死者119名、行方不明者20人	5/20 自民党新安保条約を単独強行可決
	7/1	自治省消防庁の発足（国家消防本部が消防庁となり本部長が消防庁長官となる）	10/1 市の人口3万2千794人世帯数6千321世帯	 消防車両入魂式	6/15 安保騒動 日米安全保障条約の改定に反対したデモ隊と警察隊が衝突 死者1人、傷者603人
	7/2	消防法の改正により防火責任制度から防火管理者制度に強化し、本格的な予防消防行政をスタート	10/1 柏原・水富中と入間中の一部を統合して西中学校開校		7/15 岸内閣総辞職
	7/12	119番を市役所消防係で運用開始	10/1 国勢調査が行われる 人口32,785人		7/19 池田内閣成立
	9/1	「防災の日」制定 昭和35年6月の閣議了解事項として、地震、台風津波等の災害について認識を深め、これらに対処する心構えを養うために設けられた	11/7 川越・狭山工業団地の造成計画決まる		9/10 NHK等でカラーテレビ放送開始
		年間火災件数 建物火災8件 林野火災1件 この年初めて、屋外貯蔵タンク5基が設置された	12/11 狭山市電報電話局が開局し、自動式(ダイヤル式)になる		10/1 国民年金制度始まる
					10/12 浅沼稻次郎社会党委員長 右翼少年に刺殺される
					12/8 第2次池田勇人内閣成立
					12/27 閣議にて国民所得倍増計画を決定
					(世相) 池田内閣は、経済の高度成長と所得倍増をスローガンに掲げた
S36	1/11	第3分団（入間地区）に市原式ニッサンFRB42型を配備	3/20 市議会が昭和36年度当初予算3億2千900万円余りを決議	3/20 日光東照宮の薬師堂(重要文化財)が焼失する。	4/12 ソ連宇宙船「ヴォストーク1号」にガガーリン少佐搭乗し有人ロケット打ち上げに成功「地球は青かった」との言葉を残す
	3/8	入間川中学校少年消防クラブが消防庁から表彰される	6/27 集中豪雨により上奥富下奥富の堰が決壊	5/59 八戸市大火 焼損家屋720戸	
	8/1	消防力の基準制定	9/1 堀兼之井が埼玉県指定文化財(記念物・旧跡)になる	9/15 第2室戸台風上陸 全国で死者194名 行方不明者8人 負傷者4,972人	4/16 キューバでカストロが「社会主義革命」を宣言する。
	10/1	飯能市と消防相互応援協定を締結	10/1 市の人口3万4千300人世帯数6千637世帯		5/5 アメリカ、シェパード中佐搭乗の有人ロケット打ち上げに成功
	11/15	災害対策基本法の制定			8/13 東ドイツ、東西ベルリンの境界に壁を構築

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	11/21 第1分団第1部へ消防ポンプ自動車（トヨタFC80）を配備 年間火災件数 建物火災5件 林野火災1件	 中学校での消火訓練		9/25 日本航空 国内初のジェット機就航 東京ー札幌間 （世相） 安保の時代から所得倍増の経済時代へ
S37	3/22 奥富中学校の少年消防クラブが県知事から表彰される 3/31 火災予防条例の改正により、消防設備検査修理員を消防設備士と改称 5/23 消防吏員の階級準則制定 6/16 入間基地のT33練習機が南入曽地内に突入し、農作物に被害 12/13 第3分団第1部へ消防ポンプ自動車（ニッサンFRB140）を配備 年間火災件数12件 建物火災10件 その他火災2件	3/19 市議会が昭和37年度当初予算3億4千万円余りを決議 4/1 奥富中学校と入間川中学校の一部を統合して東中学校開校 7/- 川越・狭山工業団地の土地地区画整理事業が始まる 7/29 市長に石川求助氏再選（3期） 8/11 助役に町田佐一氏、収入役に小川清一氏再任 9/1 入間川小学校で完全学校給食を開始 10/1 市の人口3万5千442人世帯数7千87世帯 11/17 航空自衛隊入間基地で第1回航空祭を開催	5/3 東京三河島駅構内列車衝突事故発生、死者160名、負傷者369名 9/26 福江市大火 焼失家屋486戸  当時の特別点検の様子 	2/1 東京が世界初1,000万人都市に 8/30 国産旅客機YS11型機初飛行に成功 9/12 東海村の国産第1号炉に、我が国初の原子の火が灯る 10/24 キューバ危機 （世相） マイカー時代が到来し、副産物として、光化学スモッグ、交通戦争が出現
S38	4/3 入間基地のF86F戦闘機が入間川2,592番地に墜落炎上、人家3棟が全焼 4/15 消防組織法、消防法が一部改正され法令で定める市町村については、消防本部及び消防署の設置義務化 消防用機械器具等の義務検定制度の創設 救急業務の法制化 9/1 狭山市災害支援隊を結成 9/29 第4分団第2部へ消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配備 12/1 市内全域に建築確認申請が必要となる	3/18 市議会が昭和38年度当初予算4億1千万円余りを決議 4/1 国道16号バイパスが開通 4/12 「狭山市政だより」を「広報さやま」と改称 5/1 中田善枝さん誘拐殺人事件発生 消防団員約300名が捜索に出動 10/1 市の人口3万6千694人世帯数7千466世帯 10/19 本富士見橋の災害復旧工事が完成し、開通 	4/2 日暮里の大火（荒川区日暮里） 8/22 池袋西武デパート火災 死者7人、負傷者121人 11/9 国鉄鶴見事故発生 162名死亡 	6/16 ソ連、世界初の女性宇宙飛行士テレシコワ少佐を乗せた衛星船の打ち上げに成功 11/22 ケネディ米大統領暗殺 12/9 第3次池田勇人内閣成立  昭和38年3月定例市議会

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	12/19 消防法施行令改正 救急業務を行わなければならない市町村の基準の決定 年間火災件数6件 建物火災4件 その他火災2件	 本富士見橋完成	 F86F戦闘機墜落現場	(世相) 農村の過疎化が進み、「三ちゃん農業」という言葉が生まれた
S39	4/1 消防団員の定員を708名から371名に改正 4/29 第1回生存者叙勲の発令 11/24 第6分団第2部へ消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配備 12/1 川越市と消防相互応援協定を締結 12/8 消防団員の階級準則制定 12/13 柏原地区火災により8棟全焼1棟半焼、2名負傷  ニッサンFR40入魂式	3/19 市議会が昭和39年度当初予算5億3千万円余りを決議 6/26 狭山市防災会議条例、災害対策本部条例を制定 7/5 市内初の信号機が設置（新富士見橋南側交差点・鶴ノ木交差点） 8/17 給食センター操業開始 8/29 集中豪雨により田島堰が決壊する 9/19 狭山市郵便局の新局舎（現在の社会福祉会館）が完成し、業務開始 10/1 市の人口3万8千473人世帯数8千26世帯 11/14 新狭山駅が開業 11/15 本田技研狭山工場が操業開始	4/5 米軍機が町田市に墜落 死者4名 6/11 川崎市昭和電工川崎工場爆発火災 死者15人 負傷者122人 6/16 新潟地震 M7.5 死者29名、負傷者510名、全壊建物3,577棟、半壊建物12,237棟、昭和石油の施設が火災となる 7/14 東京都品川区勝島倉庫（宝組勝島倉庫）火災 消防職員18名 消防団員1名殉職  新狭山駅開業	4/28 日本、経済協力開発機構（OECD）に加盟 9/17 東京モノレール 浜松町～羽田空港間で開業 10/1 東海道新幹線 東京・大阪間開業 10/10 第18回オリンピック東京大会開催 参加94カ国 11/9 佐藤栄作内閣成立
S40	1/28 柏原で大火 8世帯37名が罹災 5/14 消防法の一部改正 消防設備士制度の創設 10/15 狭山市・武蔵町・西武町の各消防団による総合防災訓練を実施 12/28 消防署の建設に着工 	3/19 市議会が昭和40年度当初予算6億9千700万円余りを決議 5/20 川越・狭山工業団地の新名称が「新狭山」に決定 6/1 入間川・柏原・水富の各農協が合併して狭山市農協が誕生 7/5 入間川小学校に簡易プールが完成 10/1 市の人口4万488人世帯数8千713世帯	1/11 伊豆大島元町大火 焼失家屋585戸 2/22 北炭夕張炭鉱でガス爆発 死者61名 5/23 室蘭港タンカー火災 死者3名 行方不明者7人 6/1 福岡県山野炭鉱でガス爆発 死者237名 8/3 松代郡発地震 M6.3	4/1 我が国初の国産旅客機「YS11」就航 5/15 ILO（国際労働機関）87号条約を承認 10/21 朝永振一郎博士ノーベル物理学賞を受賞 

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	 消防署竣工式 年間火災件数8件 建物火災8件	10/1 国勢調査が行われる 人口40,183人		 操業開始当時の本田技研工業の工場内部 (世相) 高度経済成長から安全成長期に移行
S41	2/15 奥富で大火 住宅6棟物置11棟を全焼 3/22 狭山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例を制定 5/30 入間川地区で工場火災6棟全焼 6/28 台風4号により田島堰が決壊する 7/15 消防本部庁舎完成 9/25 台風26号通過、全壊家屋17戸、半壊家屋324戸、その他の破損家屋約8千戸、農作物の被害面積約834ヘクタール、被害総額2億円をこす 11/1 狭山市大字上奥富1,172番地に消防本部、消防署を設置し、消防長以下20名にて業務開始(定員数28名) 11/1 消防ポンプ自動車1台(ニッサンFR40)、指令車1台を配備 11/1 初代消防長に村上昇氏 初代署長に田村清人氏就任 11/1 東京消防庁に全国初の消防航空隊創設 年間火災件数19件 建物火災17件 その他火災2件	1/10 狭山市名誉市民条例制定 2/- ごみ焼却場が完成し、運転開始 3/18 市議会が昭和41年度当初予算8億6千500万円余りを決議 6/17 第一浄水場が鶴ノ木に完成 8/15 2代目市長に町田佐一氏就任 9/1 助役に小川清一氏、収入役に宮寺文一氏就任 9/21 石川求助氏を名誉市民に推挙 10/1 市の人口4万2千928人世帯数1万1千353世帯 12/24 新狭山駅が橋上駅として業務開始	1/11 三沢市大火 焼失家屋282戸 2/4 全日空機東京湾(羽田沖)に墜落、乗員乗客全員死亡(死者133名) 3/4 カナダ航空機が羽田空港で炎上、死者64名 3/5 英国海外航空機が富士山上空で空中分解墜落事故死者124名 3/11 群馬県水上町水上温泉 菊富士ホテル火災死者30人 5/25 東京都足立区 西新井大師本堂焼失 9/25 台風26号東日本で猛威をふるう 行方不明者314名 11/13 全日空YS11型機松山沖に墜落、死者50名	6/30 ビートルズ来日 8/18 中国で文化大革命始まる  消防署発足時  ニッサンFR40を配備し業務開始
S42	5/25 初代消防長村上昇氏辞任 5/25 2代目団長山本栄一郎氏辞任 5/26 第2代消防長に山本栄一郎氏、第3代団長に堀越太郎氏就任 7/25 消防法の一部改正 液化石油ガスの貯蔵、取扱いの届出の義務化 9/1 消防団員公務災害補償等共済基金との間に退職報償金責任共済契約を締結 9/22 消防署へ指令車を配置 9/25 消防副士長(職)制度を採用 11/10 消防署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備(ニッサンS681) 水1,500ℓ	3/- 昭代橋が開通 3/18 市議会が昭和42年度当初予算9億5千万円余りを決議 4/1 市内初の都市公園が新狭山に誕生 4/13 市立衛生学院が開校 5/1 入間川地区について住居表示に関する法律に基づく「新住居表示制度」が実施される 8/18 市議会が狭山市交通安全都市宣言を採択 10/1 市の人口4万6千206人世帯数1万2千648世帯	3/6 鈴鹿トンネル車両火災 4/5 京都国際ホテル火災 7/9 全国に集中豪雨 死者行方不明者367名 8/26 羽越水害 死者行方不明者138人 負傷者155人 12/28 下田グランドホテル火災 	2/11 初の建国記念日 2/15 羽田空港ビルで時限爆弾事件 2/17 第2次佐藤栄作内閣成立 7/1 ユーロッパ共同体(EC)発足 7/25 住民基本台帳法公布(11/10施行) 8/8 東南アジア諸国連合(ASEAN)結成 10/22 埼玉国体開会 

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	11/10 消防署から第7分団第1部へ消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配置替え 11/14 第3分団第2部へ消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配備 12/21 狭山市危険物安全協会の名称を改め狭山市防火安全協会として発足 年間火災件数6件 建物火災6件 この年から、中高層建物の建築が始まる	 消防署へ配備された水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンS 681）水1,500ℓ	 入魂式（ニッサンS 681）	 第22回国体旗リレー （世相） 全学連の実行使デモが盛んになり、学園紛争が起こり始める
S43	3/1 消防職員の定員数を28名から34名に改正 3/7 自治体消防制度20周年記念式典挙行 3/29 消防署へ救急1号車（トヨタFS45V）を配備（国庫補助による） 5/1 救急業務を開始 6/10 消防法の一部改正、防災規制の創設、超高層建築物及び地下街等の防火管理を整備 7/1 消防署へ無線機移動局1基（車載用1、携帯用1）増設 9/9 鶴ノ木地区（旧米軍住宅）で建物火災発生全焼3棟 10/30 第4分団第1部の消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を更新 10/31 第5分団第1部の小型動力ポンプに替えて、消防ポンプ自動車（ニッサンFR40）を配備 年間火災件数17件 建物火災16件 林野火災1件 年間救急件数192件 搬送人員207名	3/18 市議会が昭和43年度当初予算11億5千400万円余りを決議 5/- 市内初の歩道橋が入間駅前通りに完成 7/1 鶴ノ木に市営プールがオープン 8/30 市の人口5万人を突破 10/1 市の人口5万290人世帯数1万4千464世帯 11/2 中央公民館が完成  完成した中央公民館	5/16 十勝沖地震 M7.9 全壊家屋673戸 半壊家屋3,004戸 死者・行方不明者52人 負傷者330人 8/17 飛騨川バス転落事故 死者104名 11/2 有馬温泉池之坊満月火災 死者30人、負傷者44人 この火災等を契機として、自動火災報知設備の設置が遡及適用されることとなった  消防署へ配備された救急1号車  鶴ノ木地区（旧米軍住宅）建物火災 全焼3棟	4/12 霞ヶ関ビル完成（日本初の超高層ビル） 6/26 小笠原諸島、日本に正式返還 7/1 郵便番号制度実施 10/12 メキシコ五輪開会 10/17 作家の川端康成氏ノーベル文学賞を受賞 12/10 東京府中市で現金輸送車襲われ3億円強奪事件 （世相） 昭和43年のGNPは世界第2位となったが、物価の上昇、公害の拡大、交通戦争の激化等、数多くの問題が発生した
S44	2/1 川崎市消防局に全国初の婦人消防官誕生 2/4 入間川地区建物火災1棟全焼 死者1名、負傷者1名 3/18 入間川地区建物火災3棟全焼4棟部分半焼 負傷者2名 6/24 消防署へ赤バイ（ホンダCB350）を配置 7/1 消防署へ無線機移動局1基（携帯用）増設 10/6 小型動力ポンプ（芝浦）を第3分団へ1台、4分団（トハツ）へ4台、第5分団（芝浦）へ3台配備	3/22 市議会が昭和44年度当初予算17億6千万円余りを決議 4/16 老人福祉センター「宝荘」が開館 4/22 上広瀬の今宿遺跡の発掘調査を開始 8/23 入間川が異常洪水 10/1 市の人口5万4千903人世帯数1万6千77世帯 10/15 市制施行15周年記念式典を挙行（狭山高校体育館）入間川商店街が歩行者天国になる	2/5 郡山市磐梯熱海温泉磐光ホテル火災 死者30人 負傷者41人  消防署へ配備された赤バイ（ホンダCB350）	1/18 東大安田講堂占拠事件 5/26 東名高速道路開通（東京～小牧間 346.7Km） 6/12 原子力船「むつ」進水 7/20 米宇宙船アポロ11号月面に人類初の月面着陸成功

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	12/3 第6分団第1部へ消防ポンプ自動車(ニッサンFR40)を配備 12/27 狭山市あき地の環境保全に関する条例(草刈り条例)を制定 都市化への変遷により、枯草火災が多発 年間火災件数48件 建物火災25件 林野火災1件 車両火災1件 その他火災18件 年間救急件数487件 搬送人員492人		(ホンダCB350)	
S45	2/13 狭山市・川越市消防署合同防火演習を実施 4/1 消防職員の定員数を34名から40名に改正 4/20 第7分団第2部の車庫新築 4/27 消防署へ国庫補助(防衛庁)による化学消防ポンプ自動車(イスズTXG10型)を配備 5/7 県民防災の日(毎月7日)を設定 7/1 消防署へ無線機移動局3基(車載用1、携帯用2)増設 8/11 入間川地区 建物火災6棟全焼、1棟半焼 12/21 第2分団第1部の水槽付消防ポンプ自動車(イスズTXG10型)を更新 社会情勢の変化により火災による死者4名 年間火災件数92件 建物火災33件 林野火災3件 その他火災56件 年間救急件数 533件 搬送人員 550人	3/23 市議会が昭和45年度当初予算23億5千万円余りを決議 5/24 第19回埼玉県身体障害者スポーツ大会(パラリンピック)を狭山高校で開催 7/27 市長に町田佐一氏再選 8/1 市立図書館が開館 8/21 助役に小川清一氏、収入役に宮寺文一氏再任 10/1 市の人口6万886人 世帯数1万5千153世帯 10/1 国勢調査が行われる 人口60,886人 11/16 七曲井(昭和24年2月24日県指定文化財)の発掘調査を開始 11/20 狭山台住宅団地の造成工事始まる	4/8 大阪市地下鉄工事現場ガス爆発 死者74名、負傷者331名  市立図書館が開館	1/14 第3次佐藤栄作内閣成立 2/11 日本初の国産人工衛星「おおすみ」打ち上げ 3/14 日本万国博覧会開幕(大阪) 3/31 日航機「よど号」ハイジャック事件 11/25 三島由紀夫氏、市谷陸上自衛隊へ乱入し割腹自殺する 12/2 総理府、国税調査の結果、総人口1億人突破 (世相) 新しい公害として光化学スモッグが生まれた 女性解放運動としてウーマン・リブが旗揚げを行った
S46	3/23 水野地区建物火災3棟全焼、水損2件 4/1 消防職員の定員を40名から79名に改正 4/1 消防団員の定員を371名から333名に改正 4/30 消防署長田村清人氏辞任 6/1 消防法の一部改正 救急業務を実施すべき市町村を自治大臣の指定を受けたものに	3/23 市議会が昭和46年度当初予算32億7千200万円余りを決議 4/1 市役所で部制を施行 企画室、総務経済部、民生部、建設部、水道部が誕生 4/1 自治協力員制度が発足 5/- 初の光化学スモッグ警戒報(注意報)が狭山市を含む県南に発令 7/- 狭山工業団地の造成が始まる	4/27 呉市林野火災 消防職員17人殉職 7/3 東亜国内航空機が函館付近に墜落、死者68名 7/30 岩手県雫石事故(全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落)死者162名 11/19 日比谷松本楼火災	6/5 新宿副都心の超高層ビル第1号京王プラザホテル開業 6/17 沖縄返還協定調印(翌年復帰が実現) 7/1 環境庁発足 8/15 金とドルの交換停止(ドルショック) 11/14 青函トンネル本工事着工

年	消防史	狹山市	主な災害	社会の動き
	9/1 2代目消防署長に本間隆正氏就任(本部長兼務) 11/9 笹井地区作業場火災 3棟全焼、負傷者1名 11/15 第7分団第1部の消防ポンプ自動車を更新(ニッサンFH60) 年間火災件数75件 建物火災36件 林野火災1件 車両火災2件 その他火災36件 年間救急件数 618件 搬送人員 627人	7/23 元市長の石川求助氏死去 10/1 市の人口6万6千286人 世帯数2万772世帯 10/30 し尿処理場運転開始		(世相) ドル・ショックにより、 1ドル360円時代に終わりを告げた
S47	3/1 消防庁長官から竿頭綬を授与(消防本部、署、団) 4/1 消防署に婦人消防官誕生 4/1 消防署へ簡易工作車(トヨタRH-11V改)を配備 4/13 消防署へ日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車を寄贈 4/26 消防特殊車(ベンレイ号トヨタRH11V改)を配備 5/11 消防操法の基準の制定 9/18 消防用超短波無線の周波数を県波と市波の2波にて運用 9/27 寝たきり老人家庭60戸に緊急用ミニサイレンを取り付ける 9/28 第1回全国消防救助技術大会開催(豊島園) 9/30 第2分団第2部の車庫新築 10/31 第1分団第2部水槽付消防ポンプ自動車を更新 11/1 消防署へ入間ライオンズクラブ、本田技研合同によりミニパトロール車2台寄贈 11/4 航空祭に参加した自衛隊浜松基地のF86F戦闘機が入間川河川敷に墜落 年間火災件数61件 建物火災34件 林野2件 車両5件 その他20件 年間救急出場件数738件 搬送人員743人	2/12 市立武道館が開館 3/21 市議会が昭和47年度当初予算43億9千600万円余りを決議 5/1 学校給食センターが完成、全校に完全給食を実施 7/7 市の人口7万人を突破 10/1 市の人口7万761人 世帯数2万2千114世帯  市内全校が完全給食となる  婦人消防官誕生	5/13 大阪市千日デパートビル火災 死者118名、負傷者81人 この火災を契機として消防用設備等の設置義務が強化された 6/14 日航機インドで墜落 死者86名 6/23 国鉄(現JR)日暮里駅構内電車追突事故 負傷者143人 7/5 高知県土佐山田町繁藤地区の山崩れにより、救助活動中の消防職員5人、消防団員15人、市民44人が生き埋めとなる 7/7 7月豪雨(台風6号) 死者行方不明者233人 負傷者498人 11/6 北陸トンネル内で列車火災 死者30名、負傷者715人 これを契機に長大トンネルの防災対策が提起された 11/29 日航機モスクワで墜落 死者61名  F86F戦闘機が入間川河川敷に墜落	1/24 元日本兵横井庄一氏、グアム島で救出 2/3 第11回冬季オリンピック札幌大会開催 2/19 浅間山荘事件 連合赤軍5人が浅間山荘に人質を取って籠城 5/15 沖縄の本土復帰が実現 沖縄の施政権返還 沖縄県誕生 6/11 田中角栄通産相「日本列島改造論」を発表 6/26 石油パイプライン事業法の制定 7/7 田中角栄内閣成立 12/22 第2次田中角栄内閣成立 (世相) 田中角栄首相が「日本列島大改造論」を発表し、土地の値上がりが始まった
S48	2/20 航空自衛隊入間基地と所沢市、入間市及び狹山市との間に消火活動に関する相互支援協定を締結 2/22 消防署へ県費補助により救急2号車を配備(トヨタRH180-C(5)) 3/31 消防署増築工事完成 8/1 特別救助隊を隊長以下9名で編成	1/1 宅地開発指導要綱を作成し施行 2/6 智光山公園事業が許可される 3/23 市議会が昭和48年度当初予算56億3千600万円余りを決議 4/- 新狹山・東三ツ木地区などで都市ガスの供給が始まる	3/8 北九州市済生会八幡病院火災 死者13人、負傷者3人 7/7 徳島市出光石油化学徳山工場火災 11/29 熊本市大洋デパート火災 死者100人、負傷者124人 	6/29 米軍ジョンソン基地が日本国に返還される 8/8 金大中韓国大統領候補東京のホテルで誘拐される。 10/6 第4次中東戦争勃発 11/23 ガソリンスタンドの日曜祭日休業を実施

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	9/1 狭山市入間川1489番地14に富士見分署を設置、分署長以下17名で業務開始 10/1 火災予防条例一部改正 石油ストーブの対震自動消火装置、空地の管理について改正 10/4 富士見分署竣工式 11/14 堀越太郎氏消防功勞に対し、県知事から表彰される 11/22 自治体消防制度25周年記念大会の開催 12/14 第1分団第1部・第2分団第2部の消防ポンプ自動車を更新（ニッサンFH60）	7/4 大韓民国忠武（チュンム）市（現統営市）と姉妹都市結縁締結 8/29 第1回狭山市防災訓練を入間川小学校にて実施 10/1 市の人口7万565人 世帯数2万4千170世帯 10/31 町田佐一氏が、天皇・皇后両陛下主催の秋の園遊会に招かれる 枯草火災急増 年間火災件数96件 救急件数938件 搬送人員908人	 姉妹都市結縁締結調印式 当日の忠武市役所  防災訓練の様子	 富士見分署 （世相） 第1次石油危機石油ショックによる狂乱物価が始まる
S49	2/18 消防署へ国庫補助による消防ポンプ自動車（ニッサンFH60）を配備 3/29 消防署へ国庫補助による梯子付消防ポンプ自動車（日野TC342型32m級）を配備 6/0 消防署へ発泡機（SA300P型）を配備 6/1 消防法の一部改正 消防用設備等の設置維持義務の強化 消防設備士の講習制度の新設 9/4 消防署及び富士見分署へ指令車を配備 10/25 国庫補助により地震対策用小型動力ポンプ（V38A型）9台を購入 11/14 山本栄一郎氏消防功勞に対し、県知事から表彰される 年間火災件数88件 建物火災39件 林野火災1件 車両火災2件 その他火災46件 年間救急件数1,083件 搬送人員1,059人	3/23 市議会が昭和49年度当初予算67億円余りを決議 5/15 市議会議長に堀越太郎氏、副議長に本木欣一氏就任 5/29 市内各地に無線広報装置を設置（11ヶ所）、災害情報予防警報等超短波無線 65.27MHz 7/28 市長に町田佐一氏3選 投票率47.46% 8/29 助役に小川清一氏、収入役に宮寺文一氏再任 10/1 市の人口8万4千760人 世帯数2万6千494世帯 10/26 市制施行20周年記念式典を狭山工業高校体育館で挙行 この席上で、狭山市民憲章、狭山市歌、市の花（つつじ）・市の木（茶の木）・市の鳥（おなが）を制定し発表 12/7 入間川笹井ダム下流から約300万年前と推定されるメタセコイアの埋没林を発見	2/17 神戸市神戸デパート火災 死者1人、負傷者40人 5/9 伊豆半島沖地震 M6.8 死者・行方不明者29人 負傷者40人 8/30 三菱重工ビル爆破事件 本社で時限爆弾爆発 死者8人、負傷者385名 11/9 東京湾でLPGタンカー第十雄洋丸爆発炎上 死者33名、負傷者34人 12/18 倉敷市三菱石油水島製油所重油流出事故 重油42,888kℓ流出  消防署に配備された32m級のはしご車	3/10 元日本兵小野田寛郎少尉、ルバン島から復員 6/26 国土庁発足 8/8 ニクソン米大統領ウォーターゲート事件で辞任 10/8 佐藤栄作元首相、ノーベル平和賞受賞 11/26 金脈問題で田中角栄首相が退陣 12/9 三木武夫内閣成立  行政防災無線 （世相） 企業爆破事件が相次ぐとともに、金脈政治が問題となった
S50	2/- 消防署へ耐熱服を3セット局所排煙機（ST-300）を配備 2/25 狭山市消防団が、優良消防団として日本消防協会から表彰旗を受章 3/4 堀越太郎氏、消防庁長官より永年勤続功勞章を授与される 3/10 消防本部へ国庫補助により救急指令装置（B型）を配備し業務を開始 3/31 第3分団第1部の消防ポンプ自動車を更新（ニッサンFH60型） 7/4 第4分団第2部、第6分団第2部、第7分団第2部の消防ポンプ自動車更新	2/13 広報無線装置子局7基増設される 3/25 市議会が昭和50年度当初予算92億円余りを決議 5/12 市議会議長に大沢武雄氏、副議長に増田正治氏就任 7/1 「市民用小型動力ポンプの配備及び運用等に関する規程」を施行し、市民自衛消火隊を設置（地震対策用として23ヶ所） 10/1 市の人口9万8千548人 世帯数2万7千230世帯	2/16 四日市市大協石油四日市製油所タンク火災 灯油22,000 kℓ焼損 3/1 池袋朝日会館火災 死者5人、負傷者17人  通信指令装置	3/10 東海道・山陰新幹線が博多まで開通 4/30 ベトナム戦争終結 5/7 エリザベス女王来日 7/20 沖縄国際海洋博覧会開催 11/15 第1回主要先進国首脳会議ランブイエで開催

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	7/24 第3分団第1部の車庫を新築 8/20 地震対策用小型動力ポンプを3台購入 11/28 消防署へ埼共連から救急車を寄贈される 11/30 堀越太郎氏団長を辞任 12/1 第4代消防団長に安藤正一氏就任 12/10 狭山市消防長の階級が消防司令長から消防監となる。 12/17 石油コンビナート等災害防止法の制定 年間火災件数58件 建物火災29件 車両火災4件 その他火災25件 年間救急件数1,294件 搬送人員1,272人	10/1 国勢調査が行われる 人口98,548人 11/26 西武新宿線入間川駅(現・狭山市駅)までの複線化が完成 12/6 市の人口10万人を突破  人口10万人を突破	 消防協会から表彰旗を授与される	(世相) 高齢化社会に対応して、国鉄(現JR)がシルバーシートを設けた
S51	1/5 通信指令室専従職員にて運用開始 1/16 第1分団第1部の車庫新築 1/21 富士見分署へ水槽付消防ポンプ自動車を配備 2/13 下奥富地区建物火災3棟全焼 3/4 山本栄一郎氏消防庁長官から功労章を受ける 5/29 第2分団第1部の車庫新築 5/29 消防法の一部改正 危険物施設に関する完成検査前検査の新設、屋外タンク貯蔵所の審査委託制度創設 5/31 石油コンビナート等災害防止法施行令の制定 6/15 第4分団第1部の車庫新築 8/28 第5分団第2部第2班の器具置場を改築 10/11 祇園地区建物火災4棟全焼 11/14 安藤正一氏消防功労に対し、県知事から表彰される 11/30 第5分団第1部の車庫改築 年間火災件数74件 建物火災46件 車両火災2件 その他火災26件 年間救急件数1,547件 搬送人員1,508件	3/29 市議会が昭和51年度当初予算108億円余りを決議 5/6 市議会副議長に奥富源一氏就任 6/14 町田佐一氏が、永年にわたり国土調査推進事業に尽力した功労により、国土庁長官の表彰を受ける 6/26 ハイパークが常時開園となる 10/1 市の人口10万8千203人世帯数3万3千610世帯 12/13 中央児童館が開館 12/21 柏原・上広瀬で都市ガスの供給が始まる	9/12 台風17号のため長良川決壊、1千200戸余りが水没 10/29 酒田市大火 焼失家屋1,774戸 焼損面積152,105㎡ 死者1人、負傷者1,003人  新鋭消防ポンプ自動車	1/31 我が国で初の5つ子が誕生 2/4 ロッキード事件発覚 7/17 モントリオール五輪開会 7/27 田中角栄元首相ロッキード事件に関与し逮捕 7/28 中国河北省でM7.5の地震が発生し、死者10万人を超す 9/6 ソ連のミグ25戦闘機、函館空港に亡命着陸 12/24 福田赳夫内閣成立 (世相) ロッキード事件で明け暮れた
S52	1/17 上奥富地区建物火災5棟全焼、1名負傷 2/11 水野地区建物火災1棟全焼、1棟部分焼1名死亡 2/15 第1分団第2部の車庫改築 2/0 第6分団第2部ホース乾燥塔新設 3/1 入間川地区建物火災1棟全焼、1名死亡 3/31 自動気象観測装置により気温、雨量、湿度、風向	2/5 市の人口11万人を突破 3/29 市議会が昭和52年度当初予算154億円余りを決議 6/10 勤労福祉センターが開館 7/15 中央児童館にプラネタリウムと大口径天体望遠鏡が完成 8/8 この日から26日にかけて記録的な長雨、市内の降	2/12 日劇会館ビル火災(千代田区) 3/25 北九州市貫山林野火災 消防職員5名殉職 焼損面積山林175ha 5/13 岩国市岩国病院火災 死者7人、負傷者5人 8/7 有珠山大爆発 9/27 日航機がクアラルンプールで墜落死者33名 9/27 米軍機が横浜で墜落 幼児2名死亡	2/11 日米漁業協定調印(200カイリ漁業水域) 7/14 宇宙開発事業団、日本初の静止気象衛星「ひまわり1号」の打ち上げに成功 9/28 日本赤軍ボンベイで日航機ハイジャック 11/30 米軍立川基地を全面返還

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	等の観測を開始 3/31 消防署へ化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を配備 5/9 第3分団第2部の車庫新築 10/12 上奥富地区建物火災 1棟半焼、1名死亡 10/19 第4分団第2部の車庫改築 11/14 奥富義明氏、消防功勞に対し、県知事から表彰される 12/10 地震対策用小型動力ポンプを3台購入 12/28 消防団各車両へ無線受令機を配備 年間火災件数80件 建物火災49件 車両火災1件 その他火災30件 年間救急件数1,621件 搬送人員1,560件	雨量361.6ミリ 10/1 市の人口11万3千567人世帯数3万4千906世帯 11/24 市民会館の建設に着工 12/2 第2給食センターが完成	 自動気象観測装置	(世相) カラオケブーム始まる 日本人の平均寿命がスウェーデンを抜いて男女とも世界第1位になった
S53	1/1 消防職員の定員数を79名から101名に改正 1/15 地震対策用小型動力ポンプを5台購入 3/7 安藤正一氏、消防庁長官から永年勤続功勞章を授与される 3/7 自治体消防制度30周年記念式典の挙行 3/24 消防署へ救急車(トヨタ)を配備 3/27 3-2、4-1、5-1の消防ポンプ自動車更新 3/11 消防署へ無線機移動局4基(車載用)増設 4/1 3-2-1、4-1-1、4-2-1、5-2-3へ小型動力ポンプ積載車を配備 5/20 3-2-1、4-1-1、4-2-1、5-2-3の車庫を新築 7/1 救急隊員の行う応急処置等の基準の制定 11/1 消防法施行令の一部改正救急隊員の資格の基準の新設 年間火災件数88件 建物火災36件 車両火災3件 航空機火災1件 その他火災48件 年間救急件数1,679件 搬送人員1,614人	7/30 狭山市長に町田佐一氏が4選 8/5 猛暑で利根川上流6ダム貯水量減、県渇水対策本部設置 8/10 県人口518万人を超える 9/1 智光山公園テニスコートがオープン 9/1 埼玉県総合防災訓練を狭山市柏原地区内(入間川左岸流域)において実施 9/7 狭山市が県の文化行政モデル都市に指定される 9/8 航空自衛隊のT33ジェット練習機、上奥富に墜落乗員2名死亡、1棟全焼1棟半焼	1/14 伊豆大島沖でM7.0の地震発生 全壊家屋94戸 半壊家屋539戸 死者25人、負傷者139人 2/28 地下鉄東西線脱線転覆事故 6/12 宮城県沖地震 M7.4 死者27名 負傷者1,227人 全壊家屋651戸 半壊家屋5,450戸  航空自衛隊のT33ジェット練習機墜落事故	3/17 国連人口年鑑発刊 世界人口40億人突破 5/20 新東京国際空港(成田)開港 6/15 大規模地震対策特別措置法の制定 8/12 日中平和友好条約調印 12/7 大平正芳内閣成立
S54	1/31 第6分団第2部の車庫を改築 3/5 奥富義明氏、消防庁長官から永年勤続功勞章を授与される 3/20 第6分団第1部の消防ポンプ自動車を更新 3/30 消防署へ化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を配備 3/31 第4代消防団長、安藤正一氏辞任 4/1 第5代消防団長に橋本喜一郎氏就任 5/15 4-1-2、5-2-2の車庫を改築	3/25 西武新宿線入間川駅が「狭山市駅」に駅名を変更された 4/10 狭山勤労者体育センターが開館 5/27 第1回ふれあい広場開催 8/7 地震防災対策強化地域の指定 東海6県170市町村 9/8 狭山市防災訓練を南入曽子供広場にて実施 11/10 狭山市市民会館が開館市制25周年記念式典を挙行	3/20 上越新幹線大清水トンネル工事現場火災 死者16人、負傷者1人 3/30 大映映画撮影所火災 5/20 静岡県藤枝市繁華街で本管から都市ガス漏れ9名死亡、20数名がガス中毒となる 7/11 東名高速道路日本坂トンネル(下り線)火災 死者7人、負傷者2人 焼損車両189台 10/3 京王電車二重衝突事故 死者1人、重軽傷者30人	1/13 初の国公立大学共通一次試験実施 1/25 世界最長の山岳トンネル「大清水トンネル22.2Km」が貫通 6/28 第5回主要先進国首脳会議開催(東京サミット) 7/1 ウォークマン登場 12/3 自動車電話登場 12/27 ソ連、アフガニスタンに侵攻

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	7/1 消防本部に消防団係を設置 7/31 第2代消防署長本間隆正氏狭山市教育委員会へ転出 8/1 第3代消防署長（本部次長兼務）に細田幸男氏就任 9/11 狭山市大字上広瀬1,832番地に広瀬分署を設置し、分署長以下21名で業務開始 10/3 広瀬分署竣工式 11/14 橋本喜一郎氏消防功勞に対し、県知事から表彰される 年間火災件数66件 建物火災34件、林野1件 車両5件、その他26件 年間救急件数1,684件 搬送人員1,621人	 広瀬分署	 入間川駅から狭山市駅へ	 市民会館が開館
S55	1/9 消防団用小型動力ポンプ8台更新 1/21 水野地区建物火災 1棟全焼、1棟部分焼 1名死亡、1名負傷 2/20 富士見分署へ救急車（トヨタ）を配備 2/24 第1回狭山市消防団家族慰安会を狭山市市民会館で実施 3/25 第7分団第2部の車庫改築 3/31 火災予防条例一部改正石油燃焼器具設置場所の規制、合成樹脂に関する規制、合せて火災予防条例規則を制定する 3/31 救急指令装置病院表示盤増設 4/1 消防職員の定員を101名から107名に改正 5/1 消防本部に機械係を設置 9/6 上奥富工場火災 1棟全焼、3名負傷 11/25 南入曽地区建物火災 1棟全焼、1棟半焼 2名死亡、1名負傷 11/27 消防100周年記念消防団全国大会の開催 11/26 第2分団第1部の水槽付消防ポンプ自動車を更新 12/19 広瀬分署へ救急車を配備 年間火災件数82件 建物火災37件 林野1件 車両3件 その他41件 年間救急件数1,826件 搬送人員 1,773人	2/15 第1回福祉大会を開催 8/23 狭山市防災訓練を（株）山本製作所御狩場総合グラウンドにおいて実施 9/30 智光山荘オープン 10/1 国勢調査が行われる 12万4,029人 11/9 商工会館が開館  第1回消防団家族慰安会を狭山市市民会館で実施 	1/17 北国繊維羽咋工場火災（石川県） 8/16 国鉄（現JR）静岡市静岡駅前ゴールデン街（地下）ガス爆発火災 死者15名（内消防職員4人、消防団員1人）重軽傷者222人 この火災を契機に準地下街に対する規制の強化が図られ、ガス漏れ火災警報設備の設置が義務付けられた 8/19 新宿駅でバスターミナルバス放火事件 死者3名、負傷者20人 11/20 栃木県藤原町川治プリンスホテル火災 死者45名、負傷者22人	2/1 日本政府は、モスクワオリンピックへの不参加を決定 4/28 任天堂 電子ゲーム機を発売 6/22 初の衆参同日選挙 7/17 鈴木善幸内閣成立 7/19 日・米・西独・中国など不参加の第22回モスクワ・オリンピック大会開催 9/9 イラン・イラク戦争始まる
S56	3/4 橋本喜一郎氏、消防庁長官から永年勤続功勞章を授与される 3/23 空気充填室を広瀬分署へ移設	1/1 助役に北田保男氏が就任 3/26 つつじ野団地入居始まる	10/16 北炭夕張新鉱でガス突出事故 死者93名	3/2 中国残留孤児47名初来日、26名の身元判明 3/20 神戸ポートアイランド博覧会開催

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	3/23 3-2-1、4-1-1、4-1-2、5-2-2へホース乾燥塔を新設 3/30 第4分団第2部第2班の車庫を新築 3/31 広瀬分署へ屈折梯子付消防ポンプ自動車（25m）を配備 4/1 消防職員の定員を107名から118名に改正 4/1 埼玉県救急医療情報システムディスプレイ装置を導入 5/15 「適マーク」制度の全国一斉実施（旅館・ホテル） 7/25 地震対策用小型動力ポンプを4台購入 12/25 広瀬分署へ組立式アルミボート（8人用）を配備	8/29 狭山市防災訓練を市立広瀬小学校校庭において実施された		10/19 福井謙一博士がノーベル化学賞を受賞 （世相） ロッキード裁判で榎本三恵子が発言した「ハチのひと刺し」が流行語となった
S57	4/1 消防職員の定員を118名から141名に改正 4/1 消防職員の被服貸与に点数制を導入 5/1 消防本部課制執行（総務課、予防課、警防課、通信指令係）消防署中隊制執行 7/1 特別救助隊を第1救助隊（陸上）隊長以下21名、第2救助隊（水上）隊長以下14名に再編成 7/20 「救急の日」制定。以後毎年9月9日を救急の日とする。 8/6 消防署へ無線機基地局を2基増設 8/31 富士見分署及び広瀬分署の指令車を更新 9/9 第1回「救急の日」 11/10 第7分団第1部の消防ポンプ自動車を更新（CD-1型） 11/25 第1回狭山市自衛消防隊屋内消火栓操作大会を奥富グラウンドにおいて実施（参加事業所41事業所） 12/15 第3分署（現水野分署）用として化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を購入	5/27 軽費老人ホーム「柏苑」を開設 8/5 シルバー人材センターが発足 8/21 狭山市防災訓練をコーシンラシン(株)グラウンドにおいて実施 9/1 収入役に宮岡 茂氏就任 10/16 第1回緑化祭を開催 11/17 第1回市内全域あき缶拾いを実施	2/6 東京都中央卸売市場築地市場火災 死者1人、負傷者1人 2/8 東京都千代田区ホテル・ニュージャパン火災 死者33人、負傷者34名 焼損面積4,186㎡ 2/9 羽田沖日航機墜落事故（東京国際空港C33滑走路南側約300m海上） 死者24名、負傷者138名 3/21 北海道浦河沖地震M7.3 全壊家屋13戸 半壊家屋30戸 負傷者167人 5/5 勝どき黎明マンション火災 死者2人 （内消防職員1人） 7/23 長崎市集中豪雨 損壊・流出家屋390戸 半壊家屋302戸 死者257人 行方不明者5人	4/1 500円硬貨発行 6/23 東北新幹線（大宮－盛岡間）が開業 9/1 防災週間の制定 9/2 国鉄（現JR）のリニアモーターカーが有人浮上走行実験に世界初成功 11/15 上越新幹線（大宮－新潟間）が開業 11/27 中曽根康弘内閣成立 （世相） ホテル火災、航空機墜落事故、大水害の発生と、災害続きの年であった
S58	3/18 （財）日本損害保険協会から救急車を寄贈される 3/31 「適マーク」制度の全国一斉実施対象を劇場・百貨店等に拡大	4/1 市民総合体育館が開館 7/3 休日診療急患センターが診療開始	2/21 蔵王観光ホテル火災 死者11人 5/26 日本海中部地震 M7.7 地震発生とほぼ同時に沿岸部に津波が襲う	2/4 日本初の実用通信衛星「さくら2号a」打ち上げ 4/15 東京ディズニーランド開園（千葉県浦安市）

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	4/1 狭山市大字水野15番地1に水野分署を設置し、分署長以下21名で業務開始 4/5 水野分署竣工式 4/29 昭和58年春の叙勲 元消防団長安藤正一氏 勲六等単光旭日章受章 9/20 消防本部庁舎及び富士見分署外装工事完了 11/18 第1分団第2部の水槽付消防ポンプ自動車を更新 11/22 自治体消防制度35周年記念大会の開催 12/10 消防法の一部改正 危険物取扱者試験及び消防設備士試験に関し、指定試験機関制度を導入 12/20 水難救助用アルミボート配備	8/27 狭山市防災訓練を狭山台中学校校庭において実施  水野分署	死者104名負傷者324名 全壊家屋1,584戸 半壊家屋3,515戸 船舶被害2,651戸 7/22 島根県西部集中豪雨 死者102人 負傷者122人 損壊流出家屋20,810戸 10/3 三宅島噴火 降灰による被害総額255億円余り 10/28 東京倉庫実業(株)葛西営業所火災 負傷者21人、戦後最長の45時間余りに及ぶ消防活動を実施 11/22 ヤマハレクリエーション つま恋バーベキューガーデン満水亭LPガス爆発火災(静岡県掛川市) 死者14人、負傷者27人	9/1 大韓航空機墜落 乗員・乗客269名全員死亡 10/12 ロッキード事件 田中角栄元首相に実刑判決 10/14 日本で初の体外授精児が誕生 12/27 第2次中曽根内閣が成立 (世相) テレビ小説「おしん」にわいた
S59	1/26 富士見分署の化学車に替えて、水槽付消防ポンプ自動車を配備 1/26 第1回狭山市文化財消防訓練を梅宮神社において実施 2/29 通信指令室へ救急業務用地図等検索装置を配置 3/16 水野分署訓練塔新築 3/19 消防本部講堂兼体力練成場新築 4/1 消防職員の定員を141名から145名に改正 7/5 消防署及び各分署へ小型動力ポンプを配備 7/10 消防署及び各分署へ水防作業用として大型排水ポンプを配備 9/25 水野分署資器材倉庫新築 10/1 衛生委員会を設置、産業医を選任、衛生管理体制が図られた 11/12 第1分団第1部・第2分団第2部の消防ポンプ自動車を更新(CD-1) 11/28 消防防災衛星通信システム運用開始 12/10 第1分団第1部他17ヶ所の消防団ホース乾燥塔電灯引込工事完成	3/1 収入役に大谷裕亮氏就任 6/15 憩いの家を開設 7/5 保健センター業務を開始 8/25 狭山市防災訓練を(株)山本製作所御狩場総合グラウンドにおいて実施 11/3 市制施行30周年記念式典を挙行 11/18 狭山産業・市民まつりを開催(狭山台地区) 11/18 狭山市市制施行30周年記念行事「市民祭」へ消防防災展を出展。 煙体験コーナー、防災用品作成体験コーナー等を設け火災予防をPR  市制施行30周年記念NHKのど自慢	9/3 東京国立近代美術館フィルムセンター火災 日本映画史貴重なフィルム約350点が焼失した 9/14 長野県西部地震 M6.9 死者24人行方不明者5人 負傷者10人 倒壊家屋568戸 道路損壊232ヵ所 9/19 自由民主党会館火災放射放火火災 11/16 世田谷電話局洞道通信ケーブル火災 12/14 旧六郷橋(大田区国道15号線多摩川上) 橋桁落下事故 死者5人、負傷者11人  市制施行30周年を記念しにぎやかに行なわれた狭山産業・市民まつり	1/5 戦後初めて首相が靖国神社参拝 3/18 江崎グリコ社長が誘拐される(グリコ・森永脅迫事件の発端) 5/12 NHK衛星テレビ放送開始 11/1 新紙幣発行 1万円札(福沢諭吉) 5千円札(新渡戸稲造) 千円札(夏目漱石) (世相) 江崎グリコ・森永製菓・ハウス食品を脅迫する等の企業事件が続発
S60	2/23 狭山市消友会発足 第1回総会を開催 2/27 救急指定病院を狭山市長表彰 3/6 昭和59年度消防庁定例表彰で消防本部、署、消防団が表彰旗を受章	8/31 狭山市防災訓練を柏原小学校校庭にて実施 9/26 第2次狭山市総合進行計画が決まる 10/1 国勢調査が行われる。 人口14万4,366人	5/6 柿の木坂タンクローリー火災 車両2台焼損、建物1戸全焼、環状7号線でタンクローリーが横転、7時間に及び交通が不通となった	3/14 東北・上越新幹線(上野ー大宮間)開業 3/16 国際科学技術博覧会(科学万博つくば85)開幕 3/22 厚生省が日本人エイズ患者第1号を認定

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	3/16 第1回消防職団員研修会を狭山市市民会館小ホールで開催 3/30 消防本部庁舎増築工事（通信指令室）完成 3/30 消防署望楼用電子サイレン警報拡声装置を更新 4/1 埼玉県下消防相互応援協定を締結 5/15 埼玉県都市消防連絡協議会会長から消防本部、消防署・消防団が表彰状、功績章を受章 7/1 ひとり暮らし老人緊急通報電話（ペンダント含む。）の貸付に伴う運用開始 7/3 狭山市幼年消防クラブを結成 10/22 第1回全国婦人消防操法大会 11/13 第3分団第1部の消防ポンプ自動車を更新 12/24 消防法の一部改正 消防用機械器具等に関する自己認証制度の導入	11/6 高齢者事業センター完成 11/9 農村環境改善センターが完成  入間川クリーン大作戦	7/26 長野市地附山地滑り災害 老人ホーム松寿荘倒壊、松寿荘の老人26人死亡 8/12 日航ジャンボ機墜落事故（群馬県） 死者520人、負傷者4人 単独機で史上最悪の死者 9/19 メキシコで大地震	4/1 日本電信電話公社はNTTに、日本専売公社は日本たばこ産業株式会社に、それぞれ民営化された 6/1 男女雇用機会均等法制定 9/22 G5会議（プラザ合意） 11/29 国鉄（現JR）に対して同時多発ゲリラ
S61	2/20 消防署へ無線機移動局7基（車載用2、携帯用5）増設 3/6 地震対策用小型動力ポンプを6台更新（トーハツV20B型） 3/25 消防署の消防ポンプ自動車を更新（CD-1型） 4/11 国際消防救助隊の結成・合同訓練の実施 4/15 消防法及び消防組織法の一部改正 救急業務の対象の明確化 応急手当の根拠の法制化 救助隊設置法制化 6/1 消防本部警防課の係名及び事務分掌を変更 6/1 消防署の第1・第2救助隊を改め救助小隊となる。 6/5 前市長狭山市名誉市民故町田佐一氏市葬に儀仗隊を編成。隊長以下9名で担当 7/30 消防本部の査察車を更新 8/13 梯子付消防ポンプ自動車（32m）をオバーホール 10/16 聴覚障害者用ミニファックスを導入 11/21 第4分団第2部の消防ポンプ自動車を更新（CD-1型）	4/1 都市緑化植物園が全面オープン 4/1 町田佐一市長が逝去 5/3 こども動物園が開園 5/6 市役所新庁舎が開庁 5/18 三代目市長に大野松茂氏が就任 市役所新庁舎が完成 8/13 狭山市防災訓練を入間川鶴ノ木河川敷で実施 10/20 狭山警察署が完成し稲荷山に移転  市役所新庁舎	2/11 熱川温泉ホテル大東館火災 死者24人 3/23 西武新宿線田無駅構内電車追突事故 8/5 台風10号による小貝川堤防の決壊（茨城県真壁郡） 床上浸水家屋31,084戸 床下浸水家屋78,294戸 死者19人、負傷者109人 8/27 国際消防救助隊をカメルーン共和国ニオス湖有毒ガス噴出災害に派遣（～9月6日） 10/11 国際消防救助隊をエル・サルヴァドル地震災害に派遣（～10月20日） 11/21 伊豆大島三原山噴火 島内全域に避難指示が出された	1/28 米スペースシャトル「チャレンジャー」が打ち上げ直後に爆発、乗組員7人全員死亡 4/26 ソ連チェルノブイリ原子力発電所爆発事故 近隣諸国に放射能汚染の恐怖広がる 7/22 第3次中曽根内閣成立 7/30 東北自動車道開業 11/28 国鉄分割・民営化関連法案8法案を可決
S62	1/23 消防署へ救助工作車を配備（国庫補助事業） 1/23 消防署へ無線機移動局6基（車載用1、携帯用5）増設 2/20 富士見分署の救急車を更新（2B型）	1/1 助役に山田和夫氏が就任 3/28 狭山大橋が開通 4/1 リサイクルセンター開設	5/26 東京電力大井火力発電所原油中継タンク爆発火災 死者4人、負傷者1人 6/6 社会福祉法人昭青会特別養護老人ホーム「松寿園」	3/9 日本気象協会は、この日初めてスギ花粉情報を発表した 4/1 国鉄が分割・民営化され、JRとしてスタート

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	3/3 地震対策用小型動力ポンプを6台更新 3/16 第5分団第2部第2班の車庫を新築 4/1 消防職員の定員を145名から149名に改正 4/29 昭和62年春の叙勲 元副団長奥富義明氏 勲六等瑞宝章受章 5/13 通信指令室へ非常時受信電話(衛星通信用)を設置 9/3 第6分団第2部の消防ポンプ自動車を更新(CD-1型) 9/16 国際消防救助隊の派遣に関する法律の制定 10/15 通信指令室の自動気象観測装置を更新 10/19 消防署へ蜂防護服を2式購入 11/4 広瀬分署の高圧ガス空気充填機を更新 11/9 第1回「119番の日」 11/28 消防署へ小型動力ポンプ付水槽車(Ⅱ型)を配備	8/29 狭山市防災訓練を(株)山本製作所御狩場総合グラウンドにおいて実施 9/9 人口が15万人を突破 10/1 狭山保健所を開設	火災(東村山市) 死者17名、負傷者25名 11/28 大韓航空機 ビルマ上空で消息不明となる 12/17 千葉県東方沖地震 M6.6 全半壊家屋14戸 一部破損家屋23,710戸 死者2人、負傷者65人	10/12 日本人で初めてノーベル医学生理学賞を、米マサチューセッツ工科大学教授の利根川進博士が受賞 10/19 ニューヨーク株式市場株価大暴落(ブラック・マンデー)世界の市場に波及 11/6 竹下登内閣成立 (世論) 増え続ける日本の貿易黒字に対してアメリカが経済制裁を行い、また、コム違反が発覚する等日米関係に緊張が高まった
S63	1/14 富士見分署へ消防ポンプ自動車(CD-1型)を配備 2/10 救急無線を救急専用波にて運用開始(146.76MHz) 2/10 消防署の無線機移動局5基(車載用)更新 2/22 地震対策用小型動力ポンプを5台更新 3/9 自治体消防制度40周年記念式典を挙行 3/31 消防本部庁舎車庫等増築工事完了 3/31 消防団緊急伝達システム導入 4/1 消防職員の定員を149名から150名に改正 5/1 狭山市職員提案規程制定に伴い、消防提案委員会を設置 5/24 消防法の一部改正 危険物の指定方法、製造所等の技術上の基準等の抜本的見直し 5/30 通信指令室へファックスを設置 9/6 通信指令室へ無停電電源装置等を導入 9/20 広瀬分署の救急車(2B型)を更新 10/19 消防署の指令車を更新 11/10 第7分団第2部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新 11/22 3-2-1、4-1-1、4-2-1、5-2-3の小型動力ポンプ付積載車を更新 12/6 消防署へ放射能防護服を3着購入	4/1 社会福祉会館が旧水道庁舎跡地に完成 4/8 入間野中学校が開校 4/29 第1回狭山新茶と花いっぱいまつりを開催 5/1 水野公民館、第4児童館水野学童保育室がオープン 7/1 水野配水場が完成し、給水開始 7/3 図書館を旧市役所跡に移転して開館 8/27 狭山市防災訓練を狭山台終末処理場跡地において実施	1/5 ディスコトゥーリア大型照明器具落下事故 死者3人、負傷者14人 5/18 ソ連客船プリアムーリエ号火災(大阪市) 7/23 横須賀港沖で海上自衛隊の潜水艦なだしおと大型釣り船「第一富士丸」が衝突 死者30名 12/5 JR東中野駅構内電車追突事故 死者2名、負傷者116人 2/10 調布市日活撮影所スタジオ火災 死者1人、傷者25人	3/13 青函トンネル開通によりJRの津軽海峡線開業 4/10 瀬戸大橋開通(世界最長) 6/18 リクルート疑惑発覚 8/20 イラン・イラク戦争8年ぶりに停戦 11/29 政府「ふるさと創生政策」全市町村に一律1億円の交付金配布方針決定 1/7 昭和天皇崩御、皇太子明仁親王即位 1/8 昭和から平成と元号が改元 1/14 国の行政機関第2・4土曜日閉庁実施

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	12/19 消防署へ放射能測定器を配備			
H1	2/10 広瀬分署へ消防ポンプ自動車(CD-1型)を配備 3/7 橋本喜一郎氏消防庁長官から功労章を授与される 4/29 平成元年春の叙勲 山本栄一郎氏 勲四等瑞宝章受章 4/1 第6代消防団長に粕谷近衛氏就任 4/1 埼玉県消防協会狭山入間支部長に粕谷近衛氏就任 4/1 消防職員の定員を150名から152名に改正 8/30 第5分団第1部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新 8/31 消防長山本栄一郎氏辞任 9/1 助役山田和夫氏が消防長事務取扱を兼ねる。 10/1 本部次長職が参事職となる。 10/2 4-1-2、4-2-2、5-2-1、5-2-2の小型動力ポンプ付積載車を更新	4/1 一般廃棄物最終処分場が完成 5/3 こども動物園が全面オープン 5/22 特別養護老人ホーム「さやま苑」を開設 6/1 狭山商工会議所が発足 7/6 広瀬橋が開通 8/26 狭山市防災訓練を上奥富運動公園において実施 11/3 市制施行35周年記念大会を挙行 12/22 狭山市平和都市宣言	7/16 福井県国道305号線落石事故 崖崩れによりマイクロバスに岩石落下 死者15人 8/1 川崎市高津区崖崩れ事故 死者6人(内消防職員3人)、負傷者12人 8/24 東京都江東区スカイツリー南砂高層建物火災 24階部分159㎡焼損 負傷者6人	4/1 消費税実施(税率3%) 6/2 宇野宗佑内閣成立 6/3 中国で天安門事件 8/9 海部俊樹内閣成立 11/9 東西ドイツ間の「ベルリンの壁」崩壊
H2	1/26 水野分署へ国庫補助により消防ポンプ自動車配備 3/8 粕谷近衛氏、消防庁長官から永年勤続功労章を授与される 3/30 消防署の救急車を更新 4/1 第3代消防長に岩田正男氏(前水道部長)署長に田中真蔵氏(前予防課長)就任 4/1 消防職員の定員を152名から156名に改正 6/29 富士見分署の作業用軽トラックを更新 9/17 第3分団第2部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新 9/28 消防本部の広報車を更新	1/1 公文書公開制度がスタート 3/29 上奥富地区のほ場整備が完了 10/1 国税調査が行われる 人口15万7,309人 11/11 第1回さやま大茶会開催  さやま大茶会の様子	1/22 JR御徒町駅ガード下道路陥没事故 3/18 スーパー長崎屋尼崎店火災 死者15人、負傷者6人 5/26 板橋区第一化成工業(株)過酸化ベンゾイル爆発火災 死者8人、負傷者18人 6/22 国際消防救助隊をイラン・イスラム共和国地震災害に派遣(～7月2日) 7/18 国際消防救助隊をフィリピン共和国地震災害に派遣(～7月26日) 12/11 千葉県竜巻災害 死者1人、負傷者78人 損壊家屋1,800戸(戦後最大の竜巻災害)	6/29 礼宮様・川嶋紀子様ご成婚 8/2 イラク軍、クウェート領内に侵攻 10/3 東西ドイツ統一 11/12 天皇即位の礼を挙行 158カ国の代表が出席 12/2 TBS記者の秋山豊寛氏、日本人初の宇宙飛行士として、ソ連「ソユーズ」で9日間宇宙へ (世相) イラク軍のクウェート侵攻の衝撃に揺れた
H3	2/16 富士見分署及び水野分署に無停電電源装置を設置 3/25 広瀬分署の化学消防ポンプ自動車に替えて、水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を配備	5/21 狭山市観光協会が発足 11/1 狭山市立博物館が開館 	3/14 広島県新交通システム高架橋建設現場橋桁落下事故 高さ11mから鋼鉄製の橋桁(長さ63.4m、重さ56t)が落下 死者14人、負傷者9人 乗用車等11台破損	1/17 多国籍軍イラク空爆開始、湾岸戦争始まる 2/24 多国籍軍、イラク・クウェートに侵攻 7/10 ロシア共和国大統領にエリツィンが就任

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	3/29 第3分団第2部車庫を新築 4/1 消防職員の定員を156名から160名に改正 4/23 救急救命士法の制定 救急救命士制度の創設 5/27 消防署の作業用軽トラックを更新 8/20 第4分団第1部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新 9/30 水野分署冷暖房改修工事 10/21 水野分署防護壁工事 11/17 消防まつりを農業祭と同時開催 12/20 非常勤特別職の報酬が改正となる 12/1 地域衛星通信ネットワーク運用開始	 博物館が開館	5/14 信楽高原鉄道列車正面衝突事故(滋賀県) 死者40人、負傷者428人 5/15 東京シューズ流通センター倉庫火災 焼損面積6,165㎡ シューズ約140万足焼損 100時間にも及ぶ消防活動となった 5/15 国際消防救助隊をバングラデシュ人民共和国サイクロン災害に派遣(～6月6日) 6/3 雲仙・普賢岳噴火大火砕流災害 建物損壊1,412戸 死者・行方不明者43人(内消防団員12人) 負傷者11人	11/5 宮沢喜一内閣成立 12/1 衆議院PKO協力法案可決 12/26 ソ連最高会議共和国会議 ソ連邦消滅を宣言
H4	2/7 所沢市・入間市・狭山市により三市消防相互応援協定連絡協議会が発足 4/1 消防本部及び消防署の組織を改正(職制及び係制の導入) 4/1 消防職員の定員を160名から162名に改正 4/1 婦人消防吏員を女性消防吏員に改称 5/22 第1回救急救命士国家試験が行われる 6/17 広瀬分署に作業用軽トラックを購入 10/7 第6分団第1部の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新	3/11 梅宮神社の甘酒祭りが埼玉県指定文化財(無形民俗文化財)になる 4/29 第1回狭山市生涯学習振興大会を開催 11/1 健康都市宣言(すこやかさやま宣言)  梅宮神社の甘酒祭りが埼玉県指定文化財(無形民俗文化財)になる	6/16 茨城県北相馬郡守谷町花火工場爆発火災 全壊家屋31戸 半壊家屋50戸 一部破損家屋558戸 死者3人、傷者61人 11/2 北海道釧路市林野火災	3/14 東海道新幹線「のぞみ」が登場 5/1 国家公務員の週休二日制が実施される 6/19 国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(PKO協力法)制定 7/1 山形新幹線開業 9/12 日本人宇宙飛行士・毛利衛氏、米スペースシャトル「エンデバー」に搭乗し宇宙へ 9/17 自衛隊のカンボジア派遣部隊(PKO)第一陣出発 11/3 アメリカ大統領選でクリントン候補が圧勝 12年ぶりの民主党政権となる
H5	1/19 第1回三市消防相互応援協定連絡協議会を開催(所沢市役所)	4/- 狭山市生涯学習基本計画スタート	1/15 釧路沖地震 死者2人 負傷者967人	1/1 欧州共同体EC統合市場が発足

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	3/3 内海誠仁氏、消防庁長官から永年勤続功労章を授与される 4/1 消防署の組織を改正(救急係増設) 4/1 消防団の副団長を3名とする 10/31 第1回消防団ポンプ操法大会を狭山市農村環境改善センターで開催 11/18 自治体消防制度45周年記念大会	7/15 狭山台図書館・体育館・プールを開設 7/26 「テレホンガイドさやま」がスタート  第1回消防団ポンプ操法大会 (狭山市農村環境改善センター) 	2/1 越中島ずい道工事現場メタンガス爆発火災 死者4人、負傷者1人 7/12 北海道南西沖地震 M7.8 地震、津波、火災及び崖崩れが発生 死者202人 行方不明者29人 負傷者305人 焼失家屋300戸 倒壊家屋805棟 12/13 国際消防救助隊をマレーシアビル倒壊被害に派遣(～11月20日)	1/3 米ロ両大統領が戦略核兵器を削減する第2次戦略核兵器削減条約に調印 3/26 モザンビークの国連平和維持活動(PKO)に自衛隊派遣決定 4/23 天皇・皇后両陛下が沖縄初訪問 5/15 Jリーグ(日本プロサッカーリーグ)開幕 6/9 皇太子徳仁親王、小和田雅子様ご結婚 8/9 衆議院議長に土井たか子氏選出(女性議長は国会で初めて) 8/9 55年体制の崩壊により非自民連立内閣 細川護熙内閣成立 11/12 環境基本法成立 (世相) ゼネコン汚職で社長や知事等の逮捕者が続出した
H6	3/25 30m級梯子付消防自動車を更新 4/1 第4代消防長に中野達夫氏(前企画部長)就任 5/27 女性消防吏員の職域を拡大 女性消防吏員の深夜業務の規制が解除されたことに伴い、職域を拡大 8/23 第18回埼玉県消防操法大会へ狭山入間支部代表として、第7分団が出場 8/29 広瀬分署の広報車を更新 10/7 第2分団第1部の水槽付消防ポンプ車を消防ポンプ自動車(CD-1)に更新 12/9 消防署の救急車を更新し、高規格救急自動車(トヨタ)を導入	2/19 こども動物園の入園者が100万人を突破 2/26 狭山市観光シンポジウムを開催 4/- 狭山市老人健康福祉計画スタート 5/18 四代目市長に町田潤一氏が就任 7/1 収入役に栗原加市氏就任 11/- 市の愛称を「お茶香るまち」と決定 11/3 狭山市制施行40周年記念式典を挙行  市制施行40周年記念式典	1/7 ロサンゼルスで大地震 4/26 中華航空機エアバス墜落事故(名古屋空港) 死者264人、負傷者9人 10/4 北海道東方沖地震M8.1 全壊家屋61戸 負傷者403人 12/28 三陸はるか沖地震 M7.5 全壊家屋72戸 死者3人、負傷者788人  高規格救急車(トヨタ)	1/1 北米自由貿易協定(NAFTA)発効 3/4 小選挙区比例代表並立制を導入 4/28 羽田孜内閣成立 6/27 長野県松本サリン事件 死者7人、負傷者79人 6/30 47年ぶりに社会党首班の村山内閣発足 7/1 製造物責任法(PL法)制定 7/8 北朝鮮の金日成主席死去 9/4 関西国際空港開港 11/2 年金改革関連法成立 (世相) 全国的に猛暑・干ばつによる給水制限が行われる
H7	3/3 粕谷近衛氏、消防庁長官から功労章を授与される 4/1 第5代消防長に山崎稔氏(前福祉健康部長)就任 4/1 本部次長に田中眞蔵氏(兼署長)就任	4/1 助役に飯島和夫氏が就任 4/1 赤坂の森公園がオープン 8/26 狭山市防災訓練を上奥富運動公園及び南小学校校	1/17 阪神・淡路大震災発生 M7.2 死者6,430人 負傷者43,773人 損壊家屋517,695棟 焼失した家屋7,483棟 11/8 埼玉県吉見町 東洋製缶 埼玉工場倉庫火災 死者3	1/1 GATTにかわる世界貿易機関(WTO)の発足 3/20 地下鉄サリン事件 死者12人、負傷者5,510人 4/9 統一地方選挙が行われ東京都知事に青島幸男大阪

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	4/1 第7代消防団長に内海誠仁氏就任 4/1 本部及び消防署の組織を改正（3部制の導入） 4/1 市長部局との相互派遣研修を開始（相互1名） 5/12 第7回救急救命士国家試験が行われ、職員1名が受験し合格。第1号の救急救命士が誕生 6/30 緊急消防援助隊の発足（登録208本部・378隊） 7/18 地震防災対策特別措置法の施行 7/18 防災基本計画の修正 震災対策を中心とした大幅見直し 9/21 消防庁舎建替工事着工 9/28 大規模災害時での（所沢・飯能・狭山・入間市）相互協力の協定締結 10/22 第2回消防団ポンプ操法大会を開催 10/27 消防組織法の改正 消防職員委員会制度の創設 消防の広域応援体制の充実を図る 10/30 緊急消防援助隊要綱制定 11/1 富士見分署の救急車を更新し、高規格救急自動車（ニッサン）を導入 11/29 第1回緊急消防援助隊合同訓練の実施	庭の2会場にて実施 9/29 自転車等の放置の防止に関する条例を設置 10/1 国税調査が行われる。 人口16万2,240人  30m級梯子付消防自動車	名（内消防職員2名殉職） 負傷者6名（消防職員） ラック倉庫火災 12/8 福井県敦賀市 高速増殖炉もんじゅナトリウム漏洩事故  赤坂の森公園がオープン	府知事に横山ノック氏が当選 4/19 米国オクラホマシティ連邦政府ビル爆破テロ 死者168人 4/21 サリン等による人身被害の防止に関する法律制定 5/16 オウム真理教・麻原彰晃代表逮捕 6/13 フランスが南太平洋ムロア環礁での核実験再開を発表 11/29 米マイクロソフト社の最新基本ソフト「Windows95」日本語版発売 12/8 災害対策基本法及び大規模地震対策特別措置法の改正 12/15 「防災ボランティアの日」（1月17日）と「防災とボランティア週間」（1月15日～1月21日）を閣議決定
H8	1/17 第1回「防災とボランティアの日」 3/26 圏央道開通に伴い、坂戸鶴ヶ島消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結 4/1 消防職員の定員を162名から167名に改正 4/1 救急救命士有資格者2名を消防職員として新規採用する 4/1 圏央道開通に伴い、埼玉西部広域事務組合消防本部と消防相互応援協定を締結 4/11 圏央道開通に伴い、入間市消防本部と消防相互応援協定を締結 6/5 消防署に高度救急処置シミュレーターを購入 7/24 消防署にエアートント購入 8/20 大規模災害時の情報収用に赤パ14台を購入 消防署・各分署に配置 10/1 消防職員委員会制度導入 10/1 震度階級の見直し 震度5及び6については「強」「弱」を設け、震度7を含め、10階級となった	1/25 全国で2番目の24時間対応巡回型ホームヘルプサービス事業を開始 3/26 圏央道（青梅IC～鶴ヶ島JCT）が開通 4/1 第二環境センター業務開始 7/8 中華人民共和国浙江省杭州市と友好交流都市を調印 11/2 「リサイクル都市・狭山」を宣言 	2/10 北海道伊丹半島豊浜トンネル岩盤崩落事故 死者20人 6/13 福岡空港ガルーダインドネシア航空機事故 10/28 広島市市営高層アパート火災 8階から20階まで延焼 10/30 国際消防救助隊をエジプト・アラブ共和国ビル崩壊被害に派遣（～11月6日） 12/6 長野県小谷村蒲原沢土石流災害 死者13人 行方不明1人 負傷者8人	1/11 橋本龍太郎内閣成立 7/13 0-157堺市の小学校で集団発生 以後各地でも発生し、社会問題となる 8/29 エイズ薬害事件で安部英前帝京大副学長を逮捕 10/12 小選挙区比例代表並立制による総選挙を始めて実施 11/5 クリントン米大統領再選 11/7 第2次橋本内閣成立 12/17 ペルーの日本大使公邸襲撃事件

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	11/26 消防組織法の改正により消防職員委員会を設置、第1回会議を開催 12/16 人命検索用にファイバースコープ3台を購入、各署所に配備完了	 中華人民共和国浙江省杭州市と友好交流都市を調印		
H9	3/21 第7分団第1部車庫を新築 3/24 第7分団第1部の消防ポンプ自動車を更新(CD-1型) 3/26 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新(狭山化学2) 4/1 消防職員の定員を167名から169名に改正 5/26 秩父生コン(株)と「震災時における消火活動協力に関する協定」を締結 10/26 第3回消防団ポンプ操法大会を開催(上奥富運動公園内) 10/31 「埼玉県内における携帯電話等119番通報受信転送体制実施に伴う協定」を締結 12/1 所沢市・入間市・狭山市による三市消防連絡協議会が発足 12/16 新消防庁舎建設工事竣工 12/24 新消防庁舎の運用を開始する。	1/30 新潟県津南町と友好交流都市を調印 4/1 助役に森田欣治氏が就任 4/- 市内全域で古紙・古布の収集を開始 10/5 大相撲秋巡業・狭山場所開催  祝 狭山市・津南町友好交流都市調印式 新潟県津南町と友好交流都市を調印	1/2 日本海(島根県隠岐島沖)でロシアのタンカーナホトカ号が座礁、大量の重油が流出 3/11 動力炉核燃料開発事業団東海事業所再処理工場爆発火災(茨城県東海村)作業員37人が被爆 7/2 東京湾油流出事故(ダイヤモンドグレース号座礁)原油 1,550k l 流出 7/10 鹿児島県出水市境町針原地区山崩事故 16世帯47人が押し流され21人死亡 10/12 JR大月駅構内列車衝突脱線事故 負傷者32人 12/29 ユナイテッド航空機乱気流事故 死者1人、負傷者96人	4/1 消費税5%に 5/27 神戸で小学生殺害事件 7/1 香港、中国へ返還 8/31 ダイアナ元英皇太子妃自動車事故 10/1 長野(北陸)新幹線東京・長野間が開業 11/24 山一証券経営破綻 12/1 温暖化防止京都会議開催 12/24 宇宙飛行士土井隆雄氏が宇宙を遊泳 (世相) 神戸小学校殺傷事件と金融破綻に揺れた
H10	1/22 新消防庁舎竣工式典実施 2/20 広瀬分署の救急車を更新し、高規格救急自動車を導入 3/3 第1分団第2部の消防自動車をタンク車からポンプ車に更新(CD-1型) 3/7 自治体消防50周年記念大会が挙行される 3/27 第5分団第2部第1班の車庫を新築 3/30 地域の防火・防災の指導者として、火災や災害のない安全な町づくりを目的とするボランティア組織「狭山市女性消防協力隊」が180名をもって発足 4/1 埼玉県内で携帯電話からの119番通報が可能となる(浦和消防代表受信) 4/1 消防職員の定員を169名から172名に改正 4/1 消防本部・消防署の組織を一部改正、各分署長を課長職に、総務課名称を消防総務課に、警防課から通信指令係を分離し消防署通信指令課とした。	1/22 狭山ケーブルテレビ(株)の放送網を利用した、消防・防災情報提供を開始 2/1 サピオ稲荷山がオープン 3/17 広瀬神社の大ケヤキが埼玉県指定文化財 記念物・天然記念物に西久保遺跡出土石器が埼玉県指定文化財(有形文化財・考古資料)になる 4/29 福祉循環バス「茶の花号」が運行開始 7/1 収入役に中山 忠氏就任 12/2 狭山市ホームページ開設 12/18 狭山市議会の議員定数を30名から27名に削減	 新庁舎  通信指令装置	2/7 郵便番号7桁化実施 2/7 第18回冬季オリンピック長野大会開催 6/22 金融監督庁発足 7/25 和歌山市でカレーライス毒物混入事件 7/30 小渕恵三内閣成立 8/31 北朝鮮テポドン発射  サピオ稲荷山オープン

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	4/5 第5分団第2部第1班の車庫を新築 4/12 消防団入団式を消防本部講堂で実施 4/29 平成10年春の叙勲で元消防団長 橋本喜一郎氏 勲五等双光旭日章受章 10/25 第15回消防団分団対抗フットボール大会開催 10/28 消防署訓練塔が完成 10/28 第2分団第2部の消防ポンプ自動車を更新 11/5 水野分署の救急車を更新し、高規格救急自動車を導入 11/6 大日本カップ工場火災	11/19 土屋埼玉県知事が消防庁舎を視察（彩の国さわやかふるさと訪問）  大日本カップ工場火災	 地震体験コーナー	
H11	1/1 市の組織機構改革に伴い係制を廃止 担当制導入 2/22 富士見分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 3/25 第7分団第2部車庫を新築 4/1 第6代消防長に渡辺陌男氏（前企画総務部付参事）就任 4/1 第8代消防団長に河井芳昭氏就任 4/1 埼玉県防災航空隊へ職員を派遣（1名） 9/12 第4回消防団ポンプ操法大会を開催 9/26 第1回狭山入間支部消防操法大会を「彩の森入間公園」で開催 9/27 査察車を更新	4/1 狭山市ダイオキシン類の排出の抑制に関する条例を施行 6/1 老人福祉センター「不老荘」を開設 6/24 更新のため不要となった分団ポンプ自動車1台を、狭山ライオンズクラブの協力により、タイ王国ノンタブリ県へ寄贈 8/28 狭山市防災訓練を市内8会場で実施 9/1 (財)狭山ささえあい福祉公社業務スタート 10/1 狭山市ポイ捨ての防止に関する条例を施行 11/1 アメリカ合衆国オハイオ州ワージントン市と姉妹都市を締結 11/3 狭山市制施行45周年記念式典を挙行	10/29 首都高速道路タンクローリー爆発事故 負傷者17名 11/22 狭山市 航空自衛隊T33ジェット練習機墜落事故 死者2名 墜落時に高圧送電線を切断し、東京都、埼玉県の約80万世帯・事業所が停電  航空自衛隊T33ジェット練習機墜落事故	1/1 欧州単一通貨ユーロ誕生 8/28 トルコ大地震発生 死者17,000名 9/27 台湾でM7.7の大地震発生 死者行方不明者4,800名を超える 9/30 茨城県東海村で核燃料加工施設で国内初臨界事故 11/12 天皇即位10年式典 
H12	3/17 第1分団第1部の消防ポンプ自動車を更新 5/29 消防本部の連絡車を更新 9/12 消防署の消防ポンプ自動車を更新 9/18 第29回全国消防救助大会（熊本市）に消防隊員が出場（引揚救助入賞） 9/19 第3分団第1部の消防ポンプ自動車を更新  ISO14001の認証を取得	4/- 県内初のエコスクール、入間川小学校が開校 公共施設予約サービスを開始 6/9 ISO14001の認証を取得 10/1 助役に北田 清氏が就任 10/1 国税調査が行われる 人口16万1,460人 12/1 インターネット蔵書検索システムがスタート  インターネット蔵書検索システムがスタート	1/4 下田市 新聞販売店火災 死者7名 配達バイクのガソリン燃料に引火 3/2 神戸市 テレホンクラブ放火火災 死者4名、負傷者3名 火炎瓶が投げ込まれる 3/8 営団地下鉄日比谷線脱線衝突事故 死者5名、負傷者38名 6/10 群馬県尾島町 日進化工群馬工場爆発火災 死者4名、負傷者58名 6/11 宇都宮市の宝石店の放火殺人事件で従業員6人が死亡 10/6 鳥取県西部地震 M7.3 負傷者182名 未知の活断層による地震	3/2 グリコ・森永事件時効 3/26 ロシア大統領選挙でプーチン氏が当選する 4/1 介護保険制度スタート 4/5 第1次森喜朗内閣成立 5/14 小渕前首相死去 7/4 第2次森喜朗内閣発足 9/1 三宅島全島民避難 7/19 2千円札を発行 6/13 平壤で朝鮮半島南北首脳会議実現 12/13 第43代米国大統領に共和党ブッシュ氏が当選

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
H13	3/8 市民災害対策支援車導入 3/14 広瀬分署の梯子付消防自動車を更新 3/24 第2分団第2部車庫を新築 4/1 消防署長に井ヶ田義夫氏（前消防総務課長）就任 8/8 第30回全国消防救助技術大会（東京都）に消防署隊員が出場（ほふく救出入賞） 11/3 平成13年秋の叙勲 元消防団長内海誠仁氏 勲六等単光旭日章受章 11/21 航空自衛隊入間基地倉庫火災 12/1 消防団員の携帯電話に電子メールを利用し、災害情報を送信開始  広瀬分署へ配備された梯子車	4/- 第3次狭山市総合進行計画スタート 4/9 インターネット版市長への手紙を開設 6/1 公共施設予約サービスにiモード版を追加 10/3 サパーク奥富がオープン 11/2 全国初の「ノーレジ袋デー」を実施  市民災害対策支援車	1/31 静岡県焼津市上空 日本航空機にニアミス 負傷者41名 日航機同士が約60mの高度差にまで接近 5/8 青森県弘前市 消費者金融・武富士弘前支店放火火災 死者5名、負傷者4名 7/21 兵庫県明石市 花火大会 群集なだれ事故 死者11名、負傷者247名 9/1 新宿区歌舞伎町（明星56ビル）火災 死者44名	1/6 中央省庁再編 1府21省庁から1府12省庁へ 2/10 米国ハワイ・ホノルル沖 えひめ丸が米国海軍原子力船（グリーンビル）と衝突 乗船者9名が行方不明 3/31 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンオープン 4/1 家電リサイクル法施行 4/26 小泉純一郎内閣発足 5/1 「さいたま市」誕生人口103万人（浦和市・大宮市・与野市合併） 6/8 大阪 池田小学校に刃物を持った男が侵入、児童8人死亡、15人が重軽傷 6/15 祝日三連休化法が成立 9/4 東京ディズニーシー開園 9/10 農水省、狂牛病の疑いのある牛1頭を日本で始めて確認 9/11 米同時多発テロ事件勃発 乗っ取られた民間機3機がNY世界貿易センタービルと国防総省に突入 10/10 野依良治・名古屋大学教授がノーベル化学賞受賞 12/1 皇太子妃雅子さま、愛子さまをご出産
H14	2/1 狭山市消防本部ホームページを公開 2/28 消防署へ指揮車を配備 3/7 消防署の救助工作車更新 3/12 消防署の救急車を更新し高規格救急車に更新 3/13 消防署へ電源照明車を配備する 3/20 第4分団2部の消防ポンプ自動車を更新 6/18 狭山広報2を更新 7/1 消防ホームページに消防キッズページを開設 8/22 消防キッズページマスコットキャラクター消防士に「マモルくん」と命名する 10/8 第6分団第2部の消防ポンプ車を更新	4/1 生ごみリサイクル事業を開始 5/- 稲荷山公園が、県営狭山稲荷山公園として開園  第6分団第2部の消防ポンプ車両引渡式	3/12 宮崎県延岡市 旭化成レオナ工場火災 有毒ガスのおそれから、半径1km内の住民3,698世帯9,407人に避難勧告 10/1 長崎市 三菱重工業（株）長崎造船所向島岸壁で建造中の豪華客船ダイヤモンド・プリンセス火災 11/6 大阪市淀川区加島・JR東海道線軌道敷内殉職事故列車接触事故の救急現場で、負傷者収容作業中の消防職員が、走行してきた特急電車に接触1名殉職、1名が負傷	5/13 FIFAワールドカップ日韓～ 共同開催 10/15 北朝鮮拉致被害者5人の帰国が実現  消防キッズページマスコットキャラクター消防士「マモルくん」誕生
H15	2/5 富士見分署の消防ポンプ自動車を更新 2/14 第3分団第1部車庫を更新 2/24 更新のため不要となった救急自動車1台を（財）	2/8 豊水橋が74年ぶりに架け替えられる 3/- アケボノゾウの骨格化石が埼玉県指定文化財（天然記念物）になる	1/25 伊勢神宮外宮忌火屋殿全焼 2/18 韓国大邱市 地下鉄火災 死者192名、負傷者148名	1/14 松井秀喜、ニューヨーク・ヤンkeesに入団 2/1 米スペースシャトル・コロンビア空中分解墜落事故（乗務員7人全員死亡）

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	日本消防協会を通じスリランカ民主社会主義共和国へ寄贈 3/10 富士見分署の小型動力ポンプ付水槽車を更新 4/1 第7代消防長に井ヶ田義夫氏（前消防署長） 消防署長に泉精一氏（前富士見分署長）が就任 4/1 消防団副団長職の4人制を導入 6/18 消防組織法が一部改正され、緊急消防援助隊が法制化される 8/11 三市（狭山市・入間市・所沢市）消防広域組織の設立に関する協定を締結 9/1 八都県市合同防災訓練を入間市彩の森入間公園を主会場として実施 10/1 第8代消防長に牛窪忠洋氏（前上下水道部長）就任 10/1 所沢市消防本部内に「広域推進課」が設置され職員1名を派遣 10/19 第6回消防団ポンプ操法大会を開催 11/27 狭山広報1を更新 12/4 第7分団2部の消防ポンプ車を更新 12/18 広瀬分署の消防ポンプ自動車を更新	5/23 構造改革特区に外国語早期教育が認定され、小学校で英語活動を開始 7/28 第5代目市長に仲川幸成氏が就任  第7分団2部の消防ポンプ車両引渡式 	5/4 新潟県青海町 明星セメント田海鉱山火災 死者3名、負傷者8名 5/22 アルジェリア北部地震 M6.7 死者約2,500名 国際救助隊17名派遣 6/23 愛知県新城市 東名高速道路多重衝突事故 死者5名、負傷者17名 乗用車11台が玉突き衝突 7/26 宮城県北部地震 8/14 三重県田度町 三重ごみ固化燃料(RDF)発電所火災 死者2名（消防職員2名殉職） 負傷者1名 9/1 新日鉄名古屋製鉄所爆発炎上火災 9/8 栃木県黒磯市(株)ブリジストン栃木工場火災 タイヤ約16万5千本焼失 9/26 北海道 十勝沖地震 M8.0 行方不明者2名 負傷者849名 全壊101棟、半壊127棟	3/20 米英軍がイラクバグダッドに攻撃開始 4/9 イラク・フセイン政権が崩壊 4/25 六本木ヒルズグランドオープン 5/1 「健康増進法」施行 7/12 第10回世界水泳選手権大会バルセロナ2003開幕 8/10 沖縄で軌道交通「沖縄都市モノレール」開業 11/9 第43回総選挙 11/29 情報収集衛星2機を載せた国産ロケット「H2A」6号機打ち上げ失敗 11/29 奥克彦大使、井ノ上正盛一等書記官とジョルジース・スレイマーン・ズラ運転手の三人がイラクのティクリート南方で、何者かの襲撃により死亡 （世相） 新型肺炎（SARS）アジアで流行
H16	1/6 第3分団第2部1班、第4分団第1部1班、第4分団第2部1班、第5分団第2部3班の小型動力ポンプ付積載車を更新 3/4 水野分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新 3/7 自治体消防55周年記念大会（東京ドーム）に参加 4/1 消防署長に小林恒雄氏（前警防課長）就任 4/1 消防本部・消防署の組織を一部改正、消防署に消防課及び大隊を設置 8/18 第23回埼玉県消防操法大会へ狭山入間支部の代表として第4分団第1部第2班が小型動力ポンプの部に出場 	4/1 収入役に片岡三郎氏就任 4/1 地区センターを設置 3/13 東京狭山線が一部開通 7/1 狭山市制50周年を迎える 9/11 第59回国民体育大会が埼玉県で開催、狭山市では、3競技が行われる 夏季(ゴルフ・ボウリング) 秋季(ソフトニス)  第59回彩の国まごころ国体ボウリング競技 	3/7 長野・南木曾 信越放送（SBC）チャーターの中日航空ヘリコプターが墜落炎上 搭乗の4名死亡 7/13 新潟・福井豪雨 8/9 福井・美浜 関西電力美浜原発3号機の二次系タービン建屋で蒸気漏れが発生、高温の蒸気を浴びた作業員ら死者5名、負傷者6名 10/23 新潟県中越地震 M6.8 上越新幹線脱線 死者40名負傷者2,999名 12/13 埼玉、さいたま 量販店「ドン・キホーテ浦和花月店」寝具売り場付近から出火、平屋店舗約2290平方m全焼 約6キロ離れた大宮大和田店でもぼや連続放火の可能性 死者3名、負傷者8名 12/26 スマトラ島沖 地震 M9.0 深約10km インド洋沿岸諸国で津波被害	1/12 山口県阿東町採卵養鶏場から、鳥インフルエンザウイルス(H5型)検出 1/17 陸上自衛隊イラク先遣隊、成田空港を出発 3/11 スペインの首都マドリードで列車同時爆破テロ 5/22 日朝首脳会談を実施 6/1 長崎県佐世保市、市立大久保小学校6年生が同級生にカッターナイフで刺され死亡 8/13 第28回オリンピック・アテネ大会開会 11/1 3種類の新紙幣発行 一万円札(福沢諭吉) 五千円札(樋口一葉) 千円札(野口英世)

年	消防史	狭山市	主な災害	社会の動き
	 県大会に出場した 第4分団員	 都市計画道路・柏原新狭山線 が開通（6月）	死者行方不明者 約156,000人	
H17	1/17 第4分団第1部第2班、第4分団第2部第2班、第5分団第2部第1班、第5分団第2部第2班の小型動力ポンプ付積載車を更新 1/18 第5分団第1部の消防ポンプ自動車を更新 3/28 第6分団第2部車庫を新築 4/1 第9代消防長に中尾 茂氏（前市民部長）就任 4/1 狭山市消防団発足50年 5/1 消防隊による救急支援活動（P A）開始 9/12 第7回消防団ポンプ操法大会を開催 9/25 第2回狭山入間支部消防操法大会を彩の森入間公園で開催  第2回狭山入間支部消防操法大会	3/3 市議会議員の定数を27名から24名に削減する条例が可決 4/1 市の組織を一部改正 企業誘致推進課等新設 4/28 武州ガス・狭山警察署・市の三者が「狭山市防犯のまちづくりに関する協定」を締結 7/19 コンピューターによる戸籍証明書の発行開始 7/21 三国コカ・コーラボトリング(株)との間で「災害時における応援協力に関する協定」を締結 9/1 狭山市駅東口自転車駐輪場がオープン  消防ポンプ自動車の部	4/25 JR福知山線、宝塚発同志社前行きの快速電車(7車編成、乗客約580人)の前5両が脱線 死者107名、負傷者549名 JR史上最悪の事故 6/10 山口県光市、県立光高校で、授業中に同校3年男子生徒が火薬の入ったガラス瓶を投げ込み爆発、58人が負傷  第6分団第2部の車庫を新築  第6分団第2部車庫引渡式	2/10 チャールズ皇太子、カミラ・バーカー・ボウルズと再婚 2/17 中部国際空港開港 2/26 H2Aロケット7号機打ち上げに成功 3/3 コクド前会長を証券取引法違反容疑で逮捕 3/24 日本国際博覧会（愛知万博）開会 4/9 北京市で反日抗議デモにより日本大使館などへ投石される 6/1 政府、省エネ対策「クール・ビズ」を提唱 7/7 英国ロンドンで同時多発テロ 50名以上死亡 7/26 スペースシャトル・ディスカバリー打ち上げに成功 日本人野口聡一飛行士ら7名  更新された第5分団第1部の消防ポンプ自動車